



# HOUSE FOODS GROUP REPORT



株主のみなさまへ —第69期 営業のご報告(第2四半期)—

2014年4月1日～2014年9月30日





株主のみなさまには日頃より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

2015年3月期第2四半期の事業の概況をご報告させていただきますので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

ハウス食品グループ本社 取締役社長

浦上 博史

- 海外事業が事業規模を拡大し、香辛・調味加工食品事業も
- 減収ながら増益を確保しましたが、健康食品事業が減収
- 減益となり、全体では微減収減益となりました。

当第2四半期連結累計期間における経営環境は、デフレ脱却に向けた各種政策の取組に期待と不安がよせられるなか、内需産業である食品業界におきましては、円安や新興国需要の増加などによる原材料・エネルギーコストの上昇圧力が強まる一方、消費税率引き上げ後の消費動向にも依然として不透明感が残るなど、予断を許さない状況が続いております。

このような環境下におきまして、当社グループは2013年3月期からの3カ年を対象とした第四次中期計画の最終年度を迎え、アクションプランの仕上げに向けた取組と並行して、第五次中期計画への仕込みを進めてまいりました。

売上面につきましては、海外事業が米国を中心に事業規模を拡大いたしました。国内コア2事業が減収となったことから、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,144億5百万円、前年同期比0.1%の減収となりました。

利益面につきましては、物流事業の大幅コスト増に、健康食品事業の新製品導入にかかるマーケティングコスト増も加わり、営業利益は39億81百万円、前年同期比14.6%の減益となりました。経常利益は46億33百万円、前年同期比16.1%の減益、四半期純利益は27億93百万円、前年同期比18.2%の減益となりました。

- 中間配当金は、当初予定どおり1株につき15円と
- させていただきました。また、自己株式300万株の
- 取得と消却を実施いたしました。

当社グループは、株主のみなさまへの利益還元を経営上重要なテーマの一つとして位置付け、収益性の向上と財務体質の強化に

努めるとともに、業績・事業計画などを総合的に勘案し、連結配当性向30%以上を基準とした安定的な配当を継続することを基本方針としております。

2015年3月期の中間配当金は、当初予定どおり、1株につき15円とさせていただきました。また期末配当金につきましては、前期末に1株につき5円の創業100周年記念配当を実施させていただいたため、前期から5円減の1株につき15円とさせていただき、年間配当金は30円とさせていただく予定であります。

なお、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行および株主還元の一環として、300万株の自己株式を取得し、7月に全株の消却を実施いたしました。

- 通期の業績予想を修正いたしました。

2015年3月期の見通しでございますが、当社グループを取り巻く経営環境は、原材料・エネルギーコストの一層の上昇や消費税増税に起因する消費動向の不透明感の継続など、引き続き厳しいものと予想されます。

このような環境下におきまして、期初目標を下回った当第2四半期連結累計期間の業績を下半期のなかで補うことは難しいと予想されることから、期初の通期業績予想を修正し、連結売上高は2,340億円（前期比0.6%増）、連結営業利益は100億円（前期比4.3%増）、連結経常利益は114億円（前期比4.0%増）、連結当期純利益は71億円（前期比19.2%減）を予定しております。

何卒株主のみなさまにおかれましては、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2014年12月

#### グループ理念

食を通じて人とつながり、  
笑顔ある暮らしを共につくる  
グッドパートナーをめざします。

時代によって食のカタチが変化しても、  
変わらない食のチカラがあります。  
食のチカラは、人を育み、人をつなぎ、人を笑顔にします。

私たちハウス食品グループは、  
食を通じておいしさと健康をお届けし、  
人とつながり、人と人をつなげたい。  
絆やぬくもりを大切にして、  
すべてのステークホルダーと共に  
笑顔ある暮らしをつくりたい。

常に新しい価値を創造しながら。

家庭の食卓はもちろん、外での食事、さらに世界でも。  
食に関わるすべてのシーンへ。

お客さまの笑顔を、  
社員とその家族の笑顔を、  
そして笑顔あふれる社会を  
共につくるグッドパートナーをめざします。

#### 創業理念

日本中の家庭が幸福であり、  
そこにはいつも温かい  
家庭の味ハウスがある。  
～幸せな家庭のマーク～

## 事業セグメント別概況

Segment Information

### 香辛・調味加工食品事業

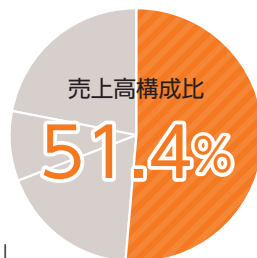
売上高 **589** 億円(前年同期比97.7%) | 営業利益 **29.4** 億円(前年同期比108.7%)

ルウカレー製品は、マーケットで消費税増税の影響があるなか、主力製品を中心に新しいカレーの食べ方を提案するなど、メニュー提案型の価値訴求に注力いたしました。併せて、マーケティングコストの効果的運用に取り組み、ブランド価値の維持向上に努めております。新製品では、汎用性の高い合わせダレの素「まぜてマジック」がお客さまの共感をいただき、順調なスタートとなりました。

一方、レトルト製品、スナック製品は、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動影響もあり、前年同期を下回る売上となりました。

以上の結果、香辛・調味加工食品事業の売上高は前年

同期比2.3%の減収となりました。利益面では、原材料・エネルギーコストの上昇はあったものの、マーケティングコストの効果的運用に取り組みました結果、営業利益は前年同期比8.7%の増益となりました。



### 健康食品事業

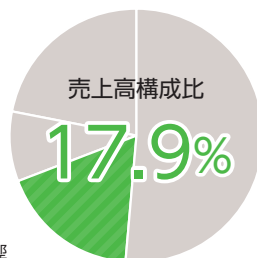
売上高 **205** 億円(前年同期比95.7%) | 営業利益 **9.8** 億円(前年同期比68.5%)

「ウコンの力」シリーズは、他社製品との競合影響などにより減収基調が続いておりましたが、機能性をさらに付加したバラエティ製品「レバープラス」の発売を機に持ち直し、売上は前年同期を上回りました。

「C1000」シリーズは、瓶製品「ビタミンレモン」を中心に日々のビタミン摂取の有効性の訴求に取り組みましたものの、PET製品を中心に今夏の天候不順の影響などにより苦戦し、全体でも減収となりました。

以上の結果、健康食品事業の売上高は前年同期比

4.3%の減収、利益面でも減収影響に加え、新製品の早期浸透をめざしたマーケティングコストの積極投下により、営業利益は前年同期比31.5%の減益となりました。



### 海外事業

売上高 **101** 億円(前年同期比111.9%) | 営業利益 **3.6** 億円(前年同期比281.4%)

米国豆腐事業は、堅調な成長が続く市場において、昨年10月に実施した価格改定の浸透に加え、大豆関連製品の拡充による新規顧客の獲得が進み、増収増益となりました。

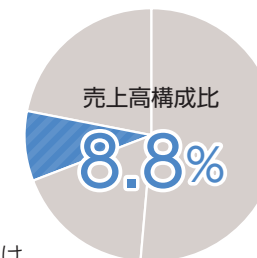
中国カレー事業は、9月の第2生産拠点稼働を見据え、マーケティングコストを積極投下し、展開エリアを拡大して日本式カレーの認知向上に取り組みました結果、増収減益となりました。

カレーレストラン事業は、展開エリア毎の経営基盤の整備や多店舗化に向けた業態開発を進め、全体では増収を

確保したものの、中国都市部における飲食店の競合激化や出店コストの上昇などにより、減益となりました。

東南アジア事業は、タイにおけるビタミン機能飲料事業において販促企画が奏功し好調に推移するなど、事業成長に向けた取組を着実に進めております。

以上の結果、海外事業の売上高は前年同期比11.9%の増収、営業利益は前年同期比181.4%の増益となりました。



### その他食品関連事業

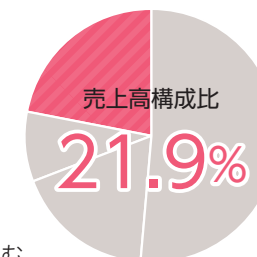
売上高 **250** 億円(前年同期比104.6%) | 営業利益  $\Delta$  **3.0** 億円(前年同期比 -)

運送・倉庫事業を営むハウス物流サービス(株)は、グループ外企業の物流業務の受託拡大を進めてまいりましたが、新規受託に伴うコスト発生やエネルギー・備車コストの上昇などが利益を大きく押し下げ、営業赤字となりました。

コンビニエンスストア向けの総菜等製造事業を営む(株)デリカシェフは、デザート製品が好調に推移しましたが、エネルギー・配送コストの上昇などにより減益となりました。

また、食材の輸入・販売等を営む(株)ヴォークス・トレーディングは、新規取引開始もあり、売上を伸ばしております。

以上の結果、その他食品関連事業の売上高は前年同期比4.6%の増収、営業損失は2億97百万円(前年同期は営業利益3億98百万円)となりました。





## 香辛・調味加工食品事業

### 新製品『まぜてマジック』



マヨネーズやしょうゆ、ごま油など、ご家庭にある調味料と混ぜるだけで、色々な料理のたれやソースができる合わせダレの素「まぜてマジック」を新発売しました。

食生活の多様化もあり、「色々な料理や味を楽しみたい」というニーズがある一方、「これ以上冷蔵庫の調味料の数は増やしたくない」といったお客さまの声をふまえて開発した製品です。バリエーション豊かなたれやソースを、かんたんにお楽しみいただけます。

組み合わせを変えるだけで、バリエーション豊かな“合わせダレ”に！

エビフライ タルタル旨だれ添え	マヨネーズ + まぜてマジック 1:1	
チキンステーキ さっぱり和風甘酢だれ	しょうゆ + まぜてマジック 1:3	
きゅうりとゆで鶏の 中華ねぎ塩だれサラダ	ごま油 + まぜてマジック 1:2	

### 新製品『特定原材料7品目※ 不使用 バーモントカレー・シチューミクス』

食物アレルギーでお困りの方が多くおられるなかで、“家族みんなで同じメニューをおいしく食べていただきたい”という思いから、「特定原材料7品目不使用バーモントカレー〈中辛〉」、「特定原材料7品目不使用シチューミクス〈クリーム〉」を新発売しました。コーンスターチや米粉、野菜の繊維質等の組合せにより自然なとろみを、また、新規原料を開発し、乳を使わず乳のようなまろやかさを実現しました。自社工場に専用ラインを立ち上げ、特定原材料7品目が混入しない徹底した管理体制のもと、生産を行っています。

※ 特定原材料7品目は、「小麦・乳・卵・ピーナッツ・そば・えび・かに」のことです。



## 健康食品事業

### 新製品『ウコンの力レバープラス』 フレッシュアップ『ウコンの力』シリーズ

「ウコンの力 レバープラス」は、3種のウコンエキス500mg（秋ウコン・紫ウコン・春ウコン）とウコンの色素成分グルクミン40mgに、肝臓エキス200mgを配合したウコン飲料です。ウコン特有の土臭さと苦味、肝臓エキスの独特の臭みを抑えたスッキリオレンジ味で飲みやすい風味になっております。

また、おなじみの「ウコンの力」シリーズは、従来から含まれていた秋ウコン由来の有用成分ビスクロンを新たに製品パッケージで訴求するほか、さらに飲みやすい風味になるようフレッシュアップを行っております。CMIに俳優の石丸幹二さんを起用し、忘年会・新年会シーズンのお供として「ウコンの力」シリーズを盛りあげていきます。



「ウコンの力」CMIに俳優の石丸幹二さんを起用

## 海外事業

### いちおし製品『Wok me up』



(スイートテリヤキ味)

(スパイシーオレンジ味)

グループ会社ハウスフーズアメリカ社では、1983年より米国で豆腐の製造・販売事業を行っております。米国には、豆腐の食べ方や調理法が分からないお客さまがまだ多くおられます。そこで、ご提案メニューとレシピをパッケージに載せ、豆腐と調理用ソースも一緒にした、メニュー提案型の製品「Wok me up」を新発売し、より多くのお客さまに豆腐をおいしく食べていただけるように展開しています。

調理用ソースは現地のお客さまの好みにあわせた2種類で、豆腐とソース、カット野菜を、レシピどおりに一緒に炒めるだけで「Tofu Stir Fry」（豆腐入り野菜炒め）ができあがります。

※ 「Wok me up」の由来… 「Wok」は中華鍋の意味で、豆腐をme（=私）とたとえることで、「私（=豆腐）を鍋で炒めてください」という意味を持っています。

# 連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

## 連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	当第2四半期末 (2014年9月30日現在)	前期末 (2014年3月31日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	116,023	117,551
固定資産	153,919	155,817
有形固定資産	63,509	62,534
無形固定資産	3,458	3,482
投資その他の資産	86,951	89,802
資産合計	269,942	273,368
<b>負債の部</b>		
流動負債	47,975	49,230
固定負債	15,445	14,041
負債合計	63,419	63,272
<b>純資産の部</b>		
株主資本	188,516	194,579
資本金	9,948	9,948
資本剰余金	23,868	23,868
利益剰余金	154,701	160,767
自己株式	△ 1	△ 4
その他の包括利益累計額	16,635	14,222
その他有価証券評価差額金	14,764	11,665
繰延ヘッジ損益	△ 5	△ 5
為替換算調整勘定	428	1,053
退職給付に係る調整累計額	1,448	1,509
少数株主持分	1,372	1,296
純資産合計	206,523	210,097
負債純資産合計	269,942	273,368

## 連結損益計算書

(単位: 百万円)

	当第2四半期 累計期間 (2014年4月～ 2014年9月)	前第2四半期 累計期間 (2013年4月～ 2013年9月)
売上高	114,405	114,571
売上原価	67,693	66,462
売上総利益	46,713	48,109
販売費及び一般管理費	42,732	43,449
営業利益	3,981	4,660
営業外収益	1,198	1,095
営業外費用	546	230
経常利益	4,633	5,525
特別利益	38	37
特別損失	65	175
税金等調整前四半期純利益	4,606	5,386
法人税等	1,701	1,904
少数株主利益	111	66
四半期純利益	2,793	3,416

## 連結キャッシュ・フロー計算書

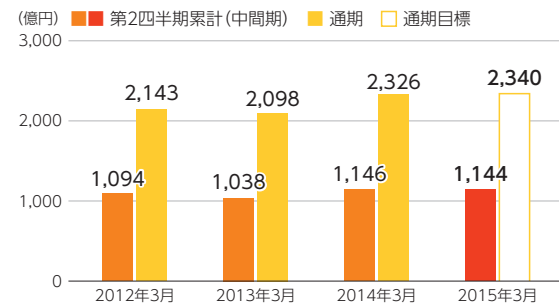
(単位: 百万円)

	当第2四半期 累計期間 (2014年4月～ 2014年9月)	前第2四半期 累計期間 (2013年4月～ 2013年9月)
営業活動によるキャッシュ・フロー (うち減価償却費)	2,948 (2,632)	5,270 (2,438)
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,316	3,535
財務活動によるキャッシュ・フロー (うち配当金の支払額)	△ 8,378 (△ 2,116)	△ 1,659 (△ 1,587)
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 171	326
現金及び現金同等物の増減額	△ 9,916	7,472
現金及び現金同等物の期首残高	49,586	47,715
現金及び現金同等物の四半期末残高	39,670	55,187

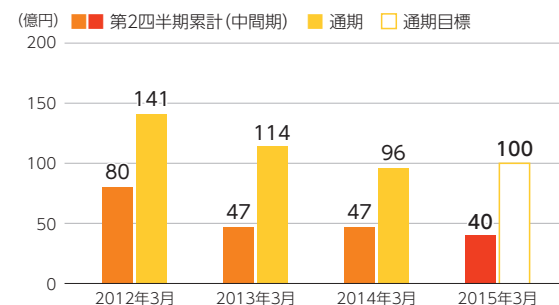
# 業績推移

Transition of Achievements

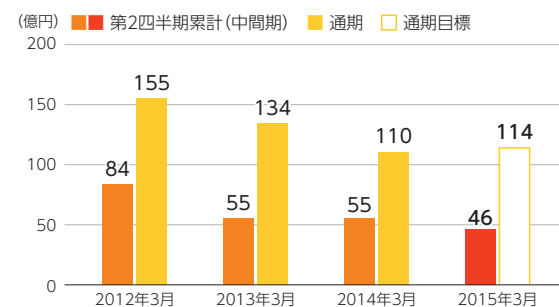
## 連結売上高



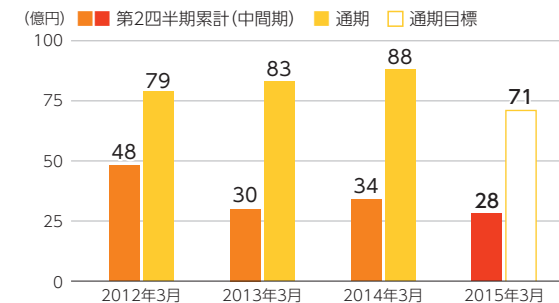
## 連結営業利益



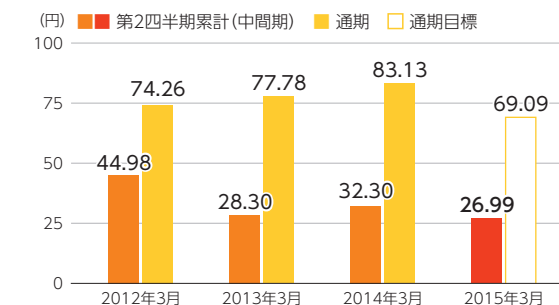
## 連結経常利益



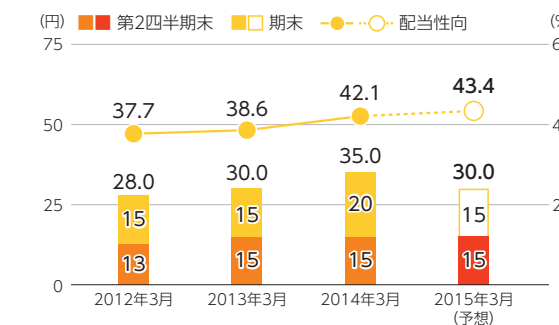
## 連結四半期(当期)純利益



## 1株当たり四半期(当期)純利益



## 1株当たり配当金・配当性向





# トピックス

## カレーライスを中国人民食に! 中国国内2カ所目のルウカレー生産ラインが新たに稼働

中国で展開しているルウカレー「百夢多（バーモント）カレー」の、中国国内2カ所目となる生産ラインが、グループ会社の大連堀江大和屋食品社で2014年9月より新たに稼働しました。



大連堀江大和屋食品社



このラインは従来と比較して2倍強の生産能力を持ち、また自動化部分を多くし省人化することで、生産効率をあげることに成功しております。

『カレーライスを中国人民食に!』をスローガンに、拡大する中国カレーマーケットへ、ルウカレー製品を安定的に供給していきます。

## ハウス 食と農と環境の体験教室

未来に生きる子ども達と、食の原点である農業を通じて「食物の大切さ」と「自然環境を守ることの大切さ」を共に考え、持続可能な社会づくりの担い手になってほしいとの思いから始めた体験型の教室です。年間を通し

て4~5回、同じご家族に継続してご参加いただき、自らの手で植えた作物を収穫していただく内容になっています。2014年は全国7カ所で開催。これまでに483組のご家族にご参加いただいています。



## コーポレートデータ

Corporate Data

### ●会社概要

(2014年9月30日現在)

創業年月日 1913年11月11日  
 設立年月日 1947年6月7日  
 資本金 9,948,323,523円  
 事業内容 グループ戦略立案、事業会社(国内・海外)への経営サポートならびに国際事業統括  
 従業員数 233名(連結:5,567名)  
 所在地 ●大阪本社  
 〒577-8520  
 大阪府東大阪市御厨栄町一丁目5番7号  
 TEL 06-6788-1231(大代表)  
 ●東京本社  
 〒102-8560  
 東京都千代田区紀尾井町6番3号  
 TEL 03-3264-1231(大代表)

### ●役員

(2014年9月30日現在)

代表取締役社長	浦上 博史
代表取締役専務	松本 恵司
専務取締役	広浦 康勝
常務取締役	井上 始
<small>(ハウスウェルネスフーズ株式会社 代表取締役社長兼務)</small>	
常務取締役	工東 正彦
<small>(ハウス食品株式会社 代表取締役社長兼務)</small>	
取締役	藤井 豊明
取締役	田口 昌男
取締役	小池 章
取締役相談役	小瀬 昉
取締役(社外)	山本 邦克
監査役	加藤 智一
監査役	塩田 昇司
監査役(社外)	由本 泰正
監査役(社外)	仁瓶 眞平
監査役(社外)	進藤 大二

## 株主優待制度

6月・12月の年2回、半年以上継続して単元株(100株)以上の株式を保有の株主さまを対象に、当社グループの製品詰合せを「株主優待」として贈呈しております。

100株以上1,000株未満

1,000円相当の詰合せ



1,000株以上

3,000円相当の詰合せ



※写真は、2014年12月上旬に贈呈した株主優待製品です。

# 株式情報

Stock Information

## ●株式の状況 (2014年9月30日現在)

発行済株式総数	102,758,690株
発行可能株式総数	391,500,000株
株主総数	69,259名
1単元の株式数	100株

## 2015年3月期配当金

	1株当たり配当金
第2四半期末	15円 (前期比±0円)
期末(予想)	15円 (前期比-5円)
年間(予想)	30円 (前期比-5円)

※前期(2014年3月期)は、普通配当(30円)に加え、創業100周年記念配当(5円)を実施

## ●株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日
中間配当制度	あり
定時株主総会	毎年6月開催
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
株主名簿管理人事務取扱場所(郵便物送付先)	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	<b>☎ 0120-782-031</b>
公告の方法	電子公告により、当社ホームページ <a href="http://housefoods-group.com">http://housefoods-group.com</a> に掲載して行います。 ただし、電子公告を行えない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
上場証券取引所	東京
証券コード	2810
株主さま窓口	ハウス食品グループ本社株式会社 総務部 総務課 〒577-8520 大阪府東大阪市御厨栄町一丁目5番7号 電話 (06)6788-1214 ※平日(夏期休暇、年末年始休暇、創業記念日(11月11日)を除く) 午前9時~午後5時30分

## 株式に関するお手続きのお問合せ先

お手続き内容	口座の種類	証券会社の口座に記録された株式	特別口座に記録された株式*
住所変更、単元未満株式買取請求、配当金の受領方法・振込先のご変更などの各種手続		口座を開設されている証券会社	
郵送物の発送と返戻に関するご照会		三井住友信託銀行 証券代行部 <b>☎ 0120-782-031</b>	三井住友信託銀行 証券代行部 <b>☎ 0120-782-031</b>
支払期間経過後の配当金に関するご照会			
株式事務に関する一般的なお問合せ			

※株券電子化実施(2009年1月5日)に際し、証券会社等に口座を開設し、証券保管振替機構(ほふり)に株券を預託されなかった株主さまのお名前、ご住所などのデータは、当社が三井住友信託銀行に開設した「特別口座」に記録されております。

## ハウス食品グループ本社株式会社

〒577-8520 大阪府東大阪市御厨栄町一丁目5番7号  
<http://housefoods-group.com>



見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。



この報告書は、FSC®認証紙と、環境に優しい植物油インキを使用して印刷しています。